

2017年1月7日
(於：神戸芸術センター)

SLiT-J ユーザーコミュニティ発足式挨拶

東北経済連合会 副会長 向田吉広

皆様、明けましておめでとうございます。まだ七日の松の内でございますので新年のごあいさつをさせていただきます。

ただいまご紹介いただきました東北経済連合会の副会長の向田でございます。本日はSLiT-Jのユーザーコミュニティの発足式を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。このように放射光に関する識者の方々が大勢お揃いの場にお招きいただき、誠にありがとうございます。

私ども、東北経済連合会は、東北放射光計画がスタートをして以来、東北大学、宮城県と一体となって、総力を挙げてこの実現に向け取り組んでまいりました。

おかげさまで、つい数週間前の昨年12月21日には、建設、運営の主体となる一般財団法人の発起人会を開催させていただきました。その後、暮れも押し迫った12月26日には財団設立の登記を行うに至っております。また、2月15日には仙台で設立総会を開催し、財団として本格的な活動を開始する予定でございます。

財団の設立発起人や役員には、産業界から経団連をはじめ、三菱重工、日立、IHI、東芝、研究機関からは産総研、物質材料研究機構、さらには学术界から、東京大学、東北大学に発起人になっていただいたのみならず、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学をはじめとする多くの大学にもご賛同いただきました。この場をお借りして、あらためて御礼申し上げます。

現在、文科省の審議会、量子ビーム利用推進小委員会において検討が進められておりますが、この審議の途上において、私どもが財団設立に踏み切ったという理由は、我が国の産業競争力の維持・向上を憂い、一刻も早くSLiT-Jを完成させる必要がある、一刻の猶予もならない、と判断したことによります。

財団を立ち上げることにより、学术界や産業界の動きを、一層加速させ、国の動きを後押ししたい、と考えたわけでございます。このような趣旨からいたしまして、本日、ユーザーコミュニティが発足されるということも誠にありがたいと、そして大変心強く、計画実現への大きな力になるものと重ねて感謝申し上げます。

SLiT-Jの特徴は、先ほど伊藤理事からもお話がありましており、性能が世界最先端であるということはもちろんのこと、もう一つ、産学連携を旨とした「コウリション・コンセプト」でございます。これによって、企業からみますと、従来と異なり各企業が、各自の各社のそれぞれの研究計画に基づいて、自由に、かつ秘密を保持しながら研究を進めることができることとなります。

私どもの財団は、各企業の皆様に一口5千万円で参画をお願いしております。大企業にとっても、5千万円というお金はポンポンと出せるものではありませんが、多くの企業の皆様方からこのコウリション・コンセプトに魅力を感じていただき、参画していただいております。

本日ご参会の皆様には、産学連携を一層進めていただき、皆様のお付き合いのある企業

の皆様にも、「こういうものがあるぞ」と声をかけていただき、このコウリション・コンセプトを最大限に活かしていただくよう、ぜひともお願いいたしたいと思います。

私たちがSLiT-Jで目指すのは、単に世界最先端の放射光施設ができればよい、というのではありません。放射光施設、SLiT-Jを核として、そこに世界最先端の研究者や企業が集まり、さらにその周辺に関連の研究施設や生産拠点が集積し、そこから世界をリードする製品を生み出していく。

それによって、東北はもとより、我が国全体のモノ作りのレベルを高めていく、そういうことを目指しております。SLiT-Jのもとに、本日ご参会の最高の頭脳の技術を集結して、世界の最先端のモノ作りをリードする。ぜひとも、この産学「共創」の拠点を作りたいと願っております。この実現に向けて、皆様からのご指導・ご支援をお願い申し上げて、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。